

郷土史資料叢書

西之表市教育年表

西之表市立種子島博物館刊

序

種子島は歴史の島だと言われ、優れた文化を持った島として人にも知られていますが、何よりも大切なことは誰よりも先に私たちは種子島を識ることが大切だと思います。

昭和四十三年西之表市は明治百年、市制十周年を記念して市史編集委員平山武章氏によつてなされた西之表市年表を發刊されています。

此の度西之表市文化財審議員河内和夫氏の貴重な労作としてなされた西之表市教育年表に深い意義を感じ、之を西之表市立種子島博物館が郷土資料双書として發刊の運びとなりました。

事、教育にたづさわる人々、古き人々の心を心として「温故知新」の言葉通り、今一度西之表市の教育について歴史的時間的推移と客観的空間的な把握の上にたち、明日への途を求めて行かねばならぬと考えます。この時にあたり河内氏の労作に深甚の敬意を表し、西之表市年表と併せ積極的な活用を期待してやみません。

昭和四十六年五月 日

西之表市教育長 牧 胤 久

西之表市教育年表

年号

記事

明治  
元年十二月 内城の館邸を学校に充つ  
二年 五月 府藩県に小学校の設置を命ず  
二年 野間村 西之表より教師を聘用して子弟の教育を行なう  
初年 廃寺の家屋を利用し 学問所を開き、読書、習字を教授す(住吉小学校)  
明治維新により、隆興寺廃せられるや、その跡に茅葺の小屋を建て、師匠西村甚右衛門を招聘し、読書算術を教授せしむ(現和小学校)  
三年 八十八大区として区長を置き、各村の戸長を任命  
三年 六月 士族の子弟を收容する寺子屋設置(安城小学校)  
三年十一月 地頭平山竜助季雄の命を受けて、学事目撃のために時任時成等と鹿兒島の学館に遊び、明年三月帰る(桑山家譜)  
三年十一月 大学規則、小中学規則制定  
四年 一月 鹿兒島藩 洋学局を廃し、本学校および小学第一、第二両校設立(地方は郷校、小学生八才から十八才位)  
四年 六月 鹿兒島藩垂水郷校を外城第一郷校、指宿正明館を同第二郷校とす  
四年 七月 廢藩置県  
四年 七月 大学を廢止し 文部省を置く  
五年 八月 学制制定 小学教則發布  
五年 八月 各學校を小学の制に改め 学課を漢学洋学習字算術とす 至此學校の体裁やや備わる。費用は猶高出米を以つてし教員の俸祿亦米給す(郡治纂考)  
五年 旧日典寺を借りて、寺子屋的の施設をなし、肥後雄一を聘して教員とし、十数名の子弟を集めて、読書算術日常昇近の学科を教授す(下西小学校)

西曆

一八六八  
一八六九

一八七〇

一八七一

一八七一

一八七二

明治

五年 西之表中目に斐則小学校を置く(榕城小学校)  
六年 八月 學校を県に統轄 西之表にあるものを本島の母校として 第七十三郷校、野間、基永に分校を置く。学頭吉良太郎  
七年 旧領主飯屋跡において寺子屋式教授を開始(国上小学校)  
七年 六月 西郷隆盛 私學校を設立  
七年 住吉、安納、国上、現和、野間、坂井、増田、油久、西野、下中、基永、平山、島間、安城の十四村に各支校を設置し、上西、下西に私校を置く  
七年 春秋二度 本校より教員を派して戸長と共に巡回試験を行ない、別に年長者のために夜学舎を設く 前田讓藏一等教授 吉良太郎差引係  
七年十二月 郷校教員連署して 区長武井四郎を彈劾し、罷免せしむ  
八年 県庁内に学務課を設置し、本學校を斐則中學校と改める  
八年 県庁内に小学校授業講習所を設ける  
九年 一月 女學校を西之表本源寺東北の地に設立 教師は田上青山、羽生助吉 教科書は女大字、女今川  
九年 三月 小学校授業講習所を鹿兒島師範學校と改称  
九年 四月 正則小学則公布  
九年 五月 西之表小学校支校となる(上西小、下西小)  
九年 第七十三郷校教員 美座時賢、遠藤喜八を鹿兒島に派して正則教授法を伝習せしむ  
九年 八月 本県斐則中學校を廢し英語學校と準中學校設立  
九年 九月 郷校内に正則小学校を置く、六才以上十四才迄の兒童を教授(榕城小学校)  
十年 西南の役 前田讓藏 子弟を論じて出校せしめ諄々として教え 一日も講演を廢せず  
十年 この頃 木造瓦葺の校舎新築(現和小學校)  
一年 郷校の正則科を分離して 榕城小学校と称す  
一年 女學校を西之表小学に合併す 初め學校教員の任免は区長の掌るところであつたが、これより戸長の選挙により、郡長これを任命することとなつた  
十一年 七月 上西、下西小学校と改称

一八七三

一八七四

一八七五

一八七六

一八七七

一八七八

十一年 七月 県立鹿島中学校再建  
 十一年 九月 太政官 学制を發布 すなはち小学校を分つて上等下等とし修学年限を各四ヶ年限を各四ヶ年とする。  
 十一年 十月 郷校を廃し 公立種子島仮中学を設立、費用は全島毎戸米二升抛出による。  
 十一年十一月 現和小学校と改称  
 十二年 一月 住吉小学校と改称 児童数四十名(住吉小)  
 十二年 六月 太政官發布学制に基づき 初等級の課程により授業開始 八級生五十名 七級生十名 計六十名(榕城小学校)  
 十二年 九月 教育会制度  
 十二年 四月 安納小学校創立  
 十二年 四月 旧日興寺を校舎に充て 校名を浜松小学校と改称す  
 十二年 五月 学務委員 島山常正 夜学舎を興す  
 十二年 六月 安城小学校校舎 移転新築  
 十二年 十月 小学教師の名称を助訓と改める  
 十三年十一月 学事通監を置き 郡内の学事を監督させる  
 十三年十二月 教育令改正  
 十四年 五月 小学校教則綱領發布さる すなわち小学校を分つて中、高等とし修業年限を初中等は三ヶ年、高等は二ヶ年とす 助訓を止めて訓導準訓導授業生と称す  
 十四年 学事世話掛なるものをおき、主として学校の経営および工事一切を掌さどらしめた 後教授をも補助す  
 十五年 三月 伊関に一校を設立し啓明と名づく  
 十五年 三月 本県小学校則制定  
 十五年 四月 安納小学校校舎落成 四十三坪  
 教員給料 参円四銭三厘  
 在籍児童 五拾四名 下等六級八名 五級十五名  
 四級九一名 三級十名 (安納小学校)

十五年 十月 小学校教則綱領の実施により 従来の下等教科を廃し、新に初等科を置き、修業年限四ヶ年とす(下西小学校)  
 十五年 十月 熊毛郡学事通監兼巡回助訓任満ちて辞職(桑山家譜)  
 十五年十一月 公撰により西之表村住吉村国上村伊関村学事通監となり、仮りに事務を掌る(桑山家譜)  
 十五年 定期試験挙行 成績優等一二等に分けて賞品を買ふ 経費九拾円五十六銭七厘 (安納小学校)  
 十六年 五月 現校敷地の東北隅に茅葺校舎を造り初等小学校を創める(立山小学校)  
 安納、住吉の二校 学校を中等にすすむ  
 十六年 在籍生徒数五拾五名(男)初等六級十三名 五級九名 四級十一名 三級七名  
 二級七名 一級五名 中等六級四名(従来下等中等と称したものを初等中等と改める)  
 経費百八十六円貳拾貳銭 (安納小学校)  
 十七年 七月 春日小学校を榕城小学校に合併(榕城小学校)  
 十七年 九月 公立種子島中学校許可されず、公立種子島学校と称す 前田謙蔵 同校雇となる  
 十七年 在籍生徒五拾五名 出席生徒四十五名  
 時々月末試験を行なう 年二回定期試験を行なう、定期試験において及落を判定し成績優等なる者にそれぞれ賞を行なう  
 所有品 校舎坪数四十三坪 校地坪数百九十六坪  
 器具個数貳拾七個 教授器械十三個 書籍部数四十九部 (安納小学校)  
 十八年 四月 在籍生徒数五拾六人 出席生徒三拾五人 (安納小学校)  
 十八年 七月 各教員の俸給は従来、その学区域人民の負担であったものを改めて管轄村の支辨となし 戸長役場より支給することとなつた (郡治纂考)  
 十八年 八月 学務委員を設置すべきことを郡長より達せらる(〃)  
 十八年 九月 米国帆船カシメール号乗員安城、伊関に漂着 救助さる  
 十八年十二月 在籍生徒数五拾三名 初等六級十二名 五級八名 四級九名 三級八名 二級三名 一級四名 中等六級七名 三級二名 (安納小学校)

十八年 四月 学制の改正により 初等科の別あり(現和小学校)  
 十九年 四月 新に小学校令発布され 小学校を高等 尋常の二とし修業年限を各四年とし別に簡易科三  
 ケ年を置くことができるようになった。  
 このため西之表、野間各小学校に高等科を設置  
 十九年 四月 深川方限に分教場を設置し授業生一名配置(住吉小)  
 十九年 四月 本年度より男生徒一人につき授業料四銭を徴収  
 十九年 四月 学制の改正により尋常科となる(現和小学校)  
 十九年 四月 学校編制従来を通り修業年限六ケ年 初等六級より一級まで、中等六級より一級までとす  
 る(安納小学校)

十九年 五月 五月の教員俸給支給額 一等授業生四円 二等授業生参円 三等授業生参円  
 十九年 十月 能野に分教場を設置し授業生一名を配置(住吉小)  
 二十年 四月 浜松 伊関 安納 現和 安城 住吉の各小学校を修業年限三ケ年の簡易小学校に改む  
 学科 読書 作文 習字 算術  
 二十年 四月 古田簡易小学校創設  
 二十年 四月 一日の授業時間を三時間、修業年限三ケ年の簡易小学校となす(下西小学校)  
 二十年 九月 本県師範学校校長黒田才蔵 同校教頭森孫一郎両氏本校視察(住吉小学校)  
 二十年 十月 安城簡易小学校の分教室となる(立山小学校)  
 二十年十二月 裕城小学校を西之表高等尋常小学校と改む  
 高等科一四六名 尋常科二〇二名 計三四八名  
 二十一年 四月 温習科を附設し 修業年限を一ケ年と定め 簡易科卒業生を入学させ、別に学区内に  
 小牧野分教場を設置し教員一名を増し分教場勤務とする。当時通学区域は川迎池野邊泊  
 上石寺下石寺五部落、新に城小牧野嶽、田三部落を編入し、小牧野分教場に収容する。  
 (下西小学校)  
 二十一年 四月 授業生西村佐平(月俸三円拾銭)生徒は男子十一名修業年限三ケ年(古田小学校)  
 二十一年 七月 村内各小学校に兼任小学校長を置くこととなり 下村時夏選ばれて村内各小学校長を兼  
 務す

一八八五  
一八八六

一八八七

一八八八

二十一年十一月 国上簡易小学校(修業年限三ケ年) 国上尋小学校と改称し四ケ年修業制となる  
 (国上小学校)  
 二十一年十一月 北種子村内各小学校生徒 比較奨励試験のため当校よりも優等生六名を選抜して出す  
 (古田小学校)  
 二十二年 二月 種子島出張所詰属岩切某 学事視察のため来校、父兄を集め就学奮励の講話あり  
 (古田小学校)  
 二十二年 三月 西之表において村内各小学校連合運動会 有留授業生児童二十二名を引卒して出会する  
 (古田小学校)  
 二十二年 三月 児童数男二十一名 女なし 日々出席平均十二人 授業日数二六七日  
 二十二年 四月 西之表に郡役所を設置(種子島、屋久島管轄)  
 二十二年 六月 安納の沖ヶ浜田を伊関学校区に変更  
 二十二年 六月 現和簡易小学校に補習科を設け武部に分教場をおく。通学区域改められ、庄司浦部落は  
 安納学区に編入され、武部分教場には、武部浅川児童を通学させる  
 二十二年 六月 深川分教室 校舍新築 落成式挙行(住吉小学校)  
 二十二年 八月 本郡に教育会起る(郡治纂考)  
 二十二年 十月 農事繁忙のため二週間休業(安納小学校)  
 二十二年 十月 十月二十五日より十一月七日まで農事多忙のため臨時休業 (古田小学校)  
 二十二年十一月 村内各小学校 秋季連合運動会 (古田小学校)  
 二十二年十二月 児童数男二十八名 女一名 (古田小学校)  
 二十二年 校舎坪数四十二坪五合 校地敷地八畝  
 在籍生徒七十二名 日の出席平均四四・八三名  
 二十三年 三月 西之表高等尋常小学校において、児童奨励試験あり当校より児童四名出頭(安納小  
 学校)  
 二十三年 五月 校長は西之表小学校長が兼務、二十六年上席訓導が校長事務をとる  
 二十三年 八月 本校校舎 新築落成式挙行 (住吉小学校)  
 校舎間数 間口九間奥行五間半 教室坪数三十九坪五合 教員事務室六坪  
 廊下二坪 便所四坪五合 玄関一坪五合 裁縫室七坪 教員住宅 十五坪

一八八八

一八八九

一八九〇

- 二十三年 八月 下村兼務校長辭職 後任八月十五日西之表高等尋小学校校長武田信清兼務校長となる
- 二十三年 九月 始めて西之表校 御真影を奉戴す
- 二十三年 十月 教育勅語公布
- 二十三年十一月 郡書記羽生主右衛門 学事視察として来校 講演 (古田小学校)
- 二十三年十二月 在籍生徒男一十六名 女一名 (古田小学校)
- 二十四年 一月 島内各校 教育勅語謄本を拜受し 各校奉戴式を挙行する
- 二十四年 一月 八日大試験 卒業証書授与式 (古田小学校)
- 二十四年 四月 能野分教場と連合運動会を古田にて行なう (古田小学校)
- 二十四年十二月 大試験執行 (安納小学校)
- 二十四年十二月 在籍生徒男二十四名 女六名 (古田小学校)
- 二十五年 一月 一日拝賀式執行 (安納小学校)
- 二十五年 一月 十日大試験 卒業証書授与 卒業生男二名 (古田小学校)
- 二十五年 一月 各簡易小学校は尋常小学校となり、修業年限を三ヶ年とする
- 二十五年 一月 改正小学校令実施準備として、生徒心得生徒罰則參勤人心得等の規定を制定す (古田小学校)
- 二十五年 三月 改生小学校令実施につき、浜松校を下西と改め小牧野分校廃止、別に補習科を加設、修業年限一ヶ年小牧野分教場廃止後間もなく城小牧野嶽ノ田三部落は校区を脱して、榕城小学校通学区に編入 (下西小学校)
- 二十五年 四月 武部の分教室廃止 (現和小学校)
- 二十五年十一月 立山校 安城尋常小学校立山分校 (二年修業の学級) となる (立山小学校)
- 二十五年十一月 学制改正により伊関尋常小学校と改称 (伊関小学校)
- 二十六年 一月 住吉尋常小学校と改称、能野、深川両分教室廢止、二学級編成となる (住吉小学校)
- 二十六年 四月 一日卒業証書授与式挙行 上妻校長臨席
- 二十六年 四月 四日入学式 入学児童 男一、女八、
- 二十六年 四月 十五日 天皇、皇后兩陛下の御真影を下賜さる (古田小学校)
- 二十六年 四月 十七日、兩陛下の御真影下賜 拜戴式挙行 (住吉小学校)

一八九〇

一八九一

一八九二

一八九三

- 二十六年 四月 下西、国上、伊関、安納、現和、古田、住吉の各校御真影を奉戴す
- 二十六年 十月 立山小 校舍改築 (十七坪)
- 二十六年十二月 十一日 森校長 原田榕城校長 視察のため来校 (古田小学校)
- 二十六年十二月 二日 幻燈師 長沢則彦 教育幻燈会を開く (古田小学校)
- 二十六年 二十六年度経費
- 教員給六〇円 備品費九円二三銭三厘
- 消耗品費五円四〇銭 雑費九円六七銭三厘
- 在籍児童 男一四名 女一六名 (古田小学校)
- 二十七年 四月 補習科を設置 (現和小学校)
- 二十七年 四月 十日、改正の新教科書を用ゐる
- 二十七年 四月 尋常日本読本 習字本 算術書 (古田小学校)
- 二十七年 七月 六日、補習科を設置す (古田小学校)
- 二十七年十二月 現地に校舍移転改築す (国上小学校)
- 二十八年 四月 校舍改築落成 (古田小学校)
- 二十八年十二月 二十三日 竣工式挙行 (落成六月) 校舍総坪数三六坪 工事費五八五円五〇銭
- 二十九年 六月 三日 安納 現和 安城 伊関 榕城 (尋常科) 五校連合し現和浜にて運動会を開催す (安納小学校)
- 二十九年 七月 初めて校長を任命す (国上小学校)
- 二十九年十二月 区補助により裁縫科を附設す (国上小学校)
- 二十九年十二月 高等科附設 尋常科を四学級に編成し、二ヶ年修業高等科を附設し、国上尋常高等小学校と改称す (国上小学校)
- 二十九年 学校改築行なわる 改築経費六〇〇〇円 (榕城小学校)
- 三十年 一月 教育組合を組織し 学校機関とす (国上小学校)
- 三十年 三月 修業年限を四ヶ年に延長す (古田、安納、伊関小学校)
- 三十年 四月 安城小学校の立山分校独立す (立山小学校)
- 三十年 六月 裁縫科を加設し、授業時間を一時間増加 (住吉小学校)
- 三十年 九月 裁縫室新築 坪数十坪 経費一二一円四〇銭 (住吉小学校)

一八九三

一八九四

一八九五

一八九六

一八九七

三十一年 四月 三学級編成となる (住吉小学校)  
 裁縫科を加設す (古田小、下西小学校)  
 三十二年 九月 始めて本郡に郡視学を置く  
 補習科を廃止 (現和小学校)  
 三十二年 四月 新入学生徒二十一名 (安納小学校)  
 校舎増築 (百十坪) (安納小学校)  
 三十二年 五月 郡教育会 泉および村教育会との連繫なる  
 修業年限を一ヶ年増して四ヶ年とし、一学級を増加して二学級となり職員三名児童七十七名となる (下西小学校)  
 三十二年十一月 私立種子島学校に郡費補助  
 三十二年十一月 各村に学事組合を設ける  
 三十二年十一月 西側に七十坪増築 (国上小学校)  
 三十二年 四月 児童数七二名 男三八名 女三四名 一学年一九名 二学年二三名 三学年一三名 四学年一七名 (安納小学校)  
 教育組合を組織し規約を判定し、就学 出席の督励及び学校教育の機関とす (下西小学校)  
 三十四年 二月 立山小 尋常小学校となる  
 二日 国定教科書を使用 (古田小学校)  
 二十四年 四月 国上校に二ヶ年の高等科をおく  
 二十四年 五月 初めて国上青年会を創立す (国上小学校)  
 二十四年 六月 現和 安城 住吉各校に高等科併置認可 九月 開業式挙行  
 二十四年 八月 校舎建築落成式挙行 講堂 教室他一八六坪  
 二十四年 十月 一日 唱歌科を増加す (古田小学校) 建築費六〇〇〇円 (住吉小学校)  
 二十四年 十月 榕城校より女子を分離して 別に女子榕城尋常高等小学校を設く (現在の市役所の位置)  
 二十四年十一月 女子実業補習学校を女子榕城校に附設す  
 二十五一年 一月 唱歌科を加設す (国上小学校)  
 二十五一年 九月 唱歌科を加設す (下西小学校)  
 同月より初めて食事時間を置き児童に昼食を携帯せしむ (下西小学校)

六八九八

一八九九

一九〇〇

一九〇一

一九〇二

三十六年 十月 女子榕城校に御真影奉戴  
 三十七年 三月 三十一日 私立種子島学校の組織を変更して郡立となし 国庫および県費の補助を受け  
 種子島農林学校と称す 修業年限三ヶ年 農業科乙種  
 北種子村各小学校に初めて校医を置く  
 三十七年 六月 北種子村婦人会組織さる  
 三十八年 一月 女子榕城小学校高等科 修業年限を四ヶ年とす  
 女子榕城小学校を本源寺東に分離 (榕城小学校)  
 三十八年 四月 北種子村立女子実業補習学校を北種子村立女子職業学校と改め 内容を改善拡張す  
 三十八年 九月 七日 種子島農林学校々舎を城摺木田に新築  
 三十九年 十月 東側に七〇坪校舎増築 (国上小学校)  
 四十年 四月 義務年限延長につき二ヶ年高等科を尋常科に編入し更に二ヶ年の高等科をおく または  
 じめて オルガンを学校に購入す (国上小学校)  
 四十一年 四月 榕城小学校六ヶ年となり 高等科をおく  
 修業年限を六ヶ年に延長 二ヶ年高等科を尋常科に編入 (住吉、現和、安城小学校)  
 四十一年 四月 修業年限延長 第五、六学年を設置 (伊関、古田、安納、下西、立山、小学校)  
 四十二年 六月 十五日 立山小学校々舎改築 (東校舎三教室)  
 四十二年 七月 高等科併置 九月より始業 (国上小学校)  
 四十二年十二月 九日 北種子村立女子職業学校々舎落成  
 四十三年 三月 十日 能野共有地一町歩の植付をなし、学林として造設した (住吉小学校)  
 四十三年 四月 二十九日、畑地一町歩を借用し、学校園を設定した (住吉小学校)  
 四十三年 四月 家庭通信簿を制定し、学校と家庭との連絡に資す (下西小学校)  
 四十三年 四月 第一学級 (第一学年男一三名 女九名、第二学年男八名 女五名、第三学年男六名 女八名) 第二学級 (第四学年男六名 女六名、第五学年男一三名 女九名、  
 第六学年男六名 女六名、(安納小学校)  
 本県訓令に基き 教員は規定の制服を着用することと定む (下西小学校)  
 四十四年 四月 二十二日、校舎改築落成 (本校舎一七〇坪 付属建物五〇坪) (古田小学校)  
 四十四年 四月 三十日、校舎修理 (住吉小学校)

一九〇三

一九〇四

一九〇五

一九〇六

一九〇八

一九〇九

一九一〇

一九一一

四十四年 四月 熊毛郡役所において 一年間准教員養成講習会を開く 講習生三十四人 免状を得たる者二十人

一九一七

四十四年 六月 安城小学校校舎落成 二二二坪  
四十四年 下西小、上西小の女子部を榕城小に合併す

二年 二月 高等科設置 四月六日 高等科開校式挙行 (住吉小学校)

一九一三

三年 一月 十二日 桜島噴火により 県は西之表町を部落移住地に指定し、町は桜園、桃園、平松二本松、十六番、中割、千段峰に移住民を收容

一九一四

三年 三月 二十四日、中割地区に約百五十戸の移住民が来島し居を定めたが 学校設置が早急には不明のため、古田、立山、星原の三校に児童の教育を依頼す (鴻峰小学校)

三年 四月 女子榕城尋常高等小学校、上西、下西尋常小学校を廃止し、榕城尋常高等小学校に合併す  
上西、下西は分教場とし尋常科三学年以下の児童を收容す

三年 四月 北種子村現和実業補習学校を現和尋常小学校に附設す (現和小学校)

三年 四月 桜島爆発による移住児童を收容し、之に対し二部教授を行なう (国上小学校)

三年 八月 校舎増築、別棟に増築す 校舎七十五坪 爆発罹災児童收容のため、県補助八百七拾五円を受く (国上小学校)

三年十一月 県費(金額)により、当初二学級の学校を建設し、鴻峰小学校と称し、初代校長に八木末次氏着任 (鴻峰小学校)

一九一五

四年 十月 御真影奉戴 (国上小学校)

四年十一月 記念植樹 今上天皇陛下御即位記念木として松の木一本を植付 (国上小学校)

一九一六

五年 四月 尋常科第四学年までを收容す (下西小学校)

五年 十月 各校区部落ごと、尋常四年以上を以つて少年団を組織す

五年十二月 住宅改築、教員住宅二棟落成 県補助三百円を受く (国上小学校)

六年 四月 一日、国上、伊関、安納、安城、立山、鴻峰、古田、住吉の各実業補習学校を各小学校に附設す

六年 四月 青年会組織改正、北種子青年団国上支部青年団として校長支部団長となる (国上小学校)

一九一七

六年 七月 十五日、郡立種子島農林学校の組織を変更し、本科(修業年限二年) 別科(修業年限一年)を設く

一九一七

別科は本校および中種子村野間、上屋久村、下屋久村の三村に分設し、本科は志願者、別科は各村長および小学校長の推薦者を收容し、大正七年より更に南種子村に別科教場を増設す

七年 二月 十六日、裁縫室屋根修繕完了 (住吉小学校)

一九一八

七年 三月 二十一日、住宅移転工事完了 (住吉小学校)

七年 四月 一日、北種子村立実業補習学校を榕城校に併設

七年 四月 国上農業補習学校創設 (国上小学校)

八年 四月 大正九年三月まで准教員養成(郡主催) 第五、六年も收容す (下西小学校)

八年 六月 補習学校併設 (鴻峰小学校)

九年 四月 下西尋常小学校独立 (下西小学校)

九年 四月 校舎落成 (鴻峰小学校)

十年 四月 北種子村立女子職業学校、榕小との併設より離れて独立す

十年 四月 郡連合青年団、県連合青年団の組織下に入る

十年 五月 三十一日、学校後援会設立 (古田小学校)

十年 十月 三十日、皇太子殿下御渡御記念として少年団組織 (国上小学校)

十一年 三月 三十一日、北種子村立実業補習学校を農業補習学校と改称

十一年 四月 郡立種子島農林学校、北種子村に移管、北種子村立種子島農林学校と改称

十二年 四月 農業補習学校併設 (下西小学校)

十二年 十二月 十二日、精神作興に関する詔書下賜 (下西小学校)

十二年 一月 皇太子殿下御成婚記念一銭貯金開始二十三年据置 (住吉小学校)

十二年 四月 高等科併設 (伊関小学校)

十二年 九月 一日、西之表幼稚園設立

十二年 九月 二十七日、新校舎落成式挙行 (住吉小学校)

十二年 九月 実習地 二反歩購入 (住吉小学校)

一九一四

一九一三

一九一三



十三年 高等科併設 (安納小学校)  
 十四年 四月 一日、学級増加 (五学級) (鴻峰小学校)  
 十四年 四月 女子実業補習学校を三年課程となす  
 十四年 四月 児童文庫創設 校区寄附および海草共同採取収入による (住吉小学校)  
 十五年 三月 十一日、鹿兒島県立第一中学校分校設立 (精小講堂を使用)  
 十五年 四月 一日、村立種子島農林学校を西之表町立農林学校、村立女子職業学校を西之表町立女子職業学校と改称  
 十五年 五月 農業補習学校を週年制とし昼学となす (下西小学校)  
 十五年 七月 一日、西之表に青年訓練所を設く  
 十五年 七月 西之表町第二訓練所創立 (国上小学校)  
 一軍 四月 一日、四学級に増級し 新に裁縫科専科教員増員 (下西小学校)  
 二軍 四月 一日、学級増加 六学級 (鴻峰小学校)  
 二年 五月 十八日、古田発電所落成 (古田小学校)  
 三年 一月 実習地新設 農場拡張 (国上小学校)  
 三年 三月 十二日、御即位記念造林開始 (住吉小学校)  
 三年 四月 高等科設置 (古田小学校)  
 三年 十月 十六日、天皇 皇后両陛下御真影下賜 (下西小学校)  
 四年 三月 県立一中種子島分校独立し、鹿兒島県立種子島中学校となる  
 四年 四月 二十日、校舎増築落成 百四拾三坪 (古田小学校)  
 四年 五月 十五日、講堂 家事室 農舎落成 (国上小学校)  
 四年十一月 私立熊毛郡教育会図書館設立  
 五年 四月 一日、五学級となる (下西小学校)  
 五年 五月 三十一日、西之表青年訓練所を西之表公民学校と改称 種子島農林学校に併設  
 五年 十月 二十八日 西之表町立種子島農林学校の学則を改め鹿兒島県種子島農林学校と改称  
 五年十一月 家事室新設 (住吉小学校)  
 六年 三月 五日、県立種子島中学校第一回卒業式挙行  
 六年 四月 農業補習学校並びに青年訓練所廃止され、西之表町中等公民学校に併置並びに合併 (下西

一九二四  
一九二五  
一九二六

一九二七

一九二八

一九二九

一九三〇

一九三一

小学校)  
 六年 六月 五日、西之表町立女子職業学校の組織を変更し、西之表町立実科高等女学校と改称  
 六年 七月 西之表町健児団組織さる (健児数四七九六 団体数三十 指導員二九二)  
 六年 女子部校舎を男子部へ合併 (榕城小学校)  
 七年 二月 十八日、校舎移転完了 (校庭拡張のため) 住吉小学校  
 七年 四月 一日、西之表町立実科高等女学校独立す  
 八年 三月 二十日、校旗制定 (東郷元師揮毫) (住吉小学校)  
 八年 三月 三十一日、町内公民学校を統一して西之表町立高等公民学校と称え種子島農林学校に併置  
 八年十二月 十一日 新校舎建築起工 (鴻峰小学校)  
 九年 四月 一日、校舎竣工落成式 (鴻峰小学校)  
 九年 四月 本校舎の屋根修理 (住吉小学校)  
 九年 六月 八日 西校舎二教室増築落成 (立山小学校)  
 九年十二月 九日、校庭拡張 校舎増築落成 (下西小学校)  
 九年十二月 雨具舎修理井戸および水飲場設置 (住吉小学校)  
 九年 校歌制定 (羽生操作詞 林幸光作曲) (住吉小学校)  
 十年 七月 五日、高等公民学校を西之表町立青年学校と改称  
 十一年 四月 六学級となる (下西小学校)  
 十一年 四月 学級減五学級となる (鴻峰小学校)  
 十一年 八月 二十四日、農業教室新築落成 (住吉小学校)  
 十二年 四月 五日、種子島農林学校を城より上ノ原に新築移転す  
 なお西之表町立青年学校を同校に併設す  
 十三年 宝永山に塾を開き 塾教育を行なう (榕城小学校)  
 フノリ採取一四円一六銭 (住吉小学校)  
 十三年 現在位置に校舎移転改築 (安納小学校)  
 十二年 九月 校舎増築 二教室五〇坪落成 (国上小学校)  
 十四年 二月 二十四日 青年学校義務制となる

一九三二

一九三三

一九三三

一九三四

一九三五  
一九三六

一九三七

一九三八

一九三九

- 十四年 四月 一日、西之表町立実科高等女学校 鹿兒島県西之表高等女学校と改称
- 十四年 四月 一日、榕城小学校下西分校独立し 下西小学校となる (下西小学校)
- 十四年 九月 八日、青少年学徒に賜りたる勅語謄本拜戴 (下西小学校)
- 十四年 十月 六日、講堂と便所を残して全焼 (国上小学校)
- 十四年 十一月 西之表町立青年学校に普通科第一部(一ヶ年) 本科第一部(五年男子) 第二部(二年女子)の課程をおく
- 十五年 二月 十一日、二千六百年に関する詔書御下賜 (各小学校)
- 十五年 四月 一日、種子島農林学校甲種に昇格 高等科二年卒業生を入学せしめ修業年限を三ヶ年とす
- 十五年 四月 御真影奉安殿竣工 (榕城小学校)
- 十五年 四月 学級増 (国上小学校)
- 十五年 四月 上西分教場を廃し 独立す (上西小学校)
- 十五年 七月 十五日より 校舍再建工事着手 (国上小学校)
- 十六年 四月 学制改革により町内各小学校 国民学校と改称し、義務教育八ヶ年となる
- 十六年 六月 西之表町青少年団結成
- 十七年 三月 十六日、西之表高等女学校増築一教室落成
- 十七年 四月 一日、高等科一学級複式併置 (下西小学校)
- 高等科複式併置 (鴻峰小学校)
- 十七年 七月 十七日、西之表高等女学校を鹿兒島県種子島高等女学校と改称
- 十七年 八月 暴風雨のため第二校舎東側に傾斜 破損甚し (住吉小学校)
- 十七年 九月 講堂兼用校舎落成 (現和小学校)
- 十八年 四月 種子島高等女学校県立移管
- 十八年 四月 高等科併置 (立山小学校)
- 十八年 四月 学林地植樹 杉苗一千本 (住吉小学校)
- 十九年 四月 一日、高等科二学級となる (下西小学校)
- 十九年 四月 人手不足の種子島に学徒動員 県下九ツの農学校生徒七百三十五名を五班に分けて農作業に奉仕
- 十九年 七月 校舎復旧建築工事竣工 (国上小学校)

- 十九年 七月 十七日、島内学童の集団疎開きまる
- 十九年 十一月 新校舎屋根修繕にかかったが未完のまま中止した (住吉小学校)
- 二十年 三月 十九日、全学校の一年間授業停止
- 二十年 四月 一日、西之表町立青年学校独立 西之表新城に校舎を設けて移動す
- 二十年 四月 十五日、県立種子島中学校校舎を種子島駐屯部隊兵舎として使用
- 二十年 四月 十九日、種子島中学校全焼 そのため野首 小牧 納曾 東町の各部落会宅にて分散授業
- 二十年 四月 十九日、午前一〇時三〇分空襲 校舎一部に機銃弾を受く (下西小学校)
- 二十年 四月 二十四日、疎開児童(二年一六年) 教師および附添父兄等伊佐郡山野村へ出発 (下西小学校)
- 二十年 四月 二十七日、伊佐郡羽月へ疎開開始 (二年一六年現和小学校)
- 二十年 四月 二十八日、午前七時校庭集合の上 旧種子島高女に参集 疎開準備完了(安城小学校)
- 二十年 四月 全島小学校児童二年以上六年生まで 伊佐 大口方面に疎開開始
- 二十年 五月 十四日、塗泊に機銃掃射 (下西小学校)
- 二十年 六月 十六日、学校銃撃を受く 教員死亡一名 (現和小学校)
- 二十年 七月 十日、学校機銃掃射を受く (下西小学校)
- 二十年 七月 二十五日、爆弾のため校舎一部破壊 (下西小学校)
- 二十年 十月 一日、疎開児童帰校す (下西小) (現和小学校)
- 二十一年 一月 一日、種子島中学校復興後援会結成さる
- 二十一年 七月 一日、種子島農林学校を西之表町より県に移管 鹿兒島県立種子島農林学校と改称
- 二十二年 十月 八日、種子島中学校復興校舎起工式
- 二十二年 四月 六三制実施
- 二十二年 五月 一日、学制改革により高等科廃止され、新制古田、星原中学校へ高等科生を入学さす (鴻峰小学校)
- 二十二年 五月 二日、榕城中 国上中 現和中 安城中 古田中 住吉中開校 各高等科を中学校に移す

- 二十二年十一月 十三日、父母と教師の会発会式 (古田中学校)
- 二十三年 二月 七日、榕城中学校PTA結成 (榕城中学校)
- 二十三年 三月 一日、本校舎六教室落成 (住吉中学校)
- 二十三年 三月 種子島中学校校舎落成
- 二十二年 三月 榕城小学校校舎落成
- 二十二年 三月 三十一日、西之義町立青年学校廃止さる
- 二十三年 四月 一日、種子島農林学校を種子島高等学校第一部
- 種子島中学校を種子島高等学校第一部
- 種子島高等女学校を種子島高等学校第三部

一九四八

新設定時制高等学校を種子島高等学校第四部と称す

- 二十三年 五月 一日、第三部新校舎 内城に五教室落成
- 二十三年 五月 二十八日、PTA結成 (国上中学校)
- 二十三年 六月 十八日、「父母と教師の会」結成なる (住吉小学校)
- 二十三年 七月 十日、校舎増築落成 (立山小学校)
- 二十三年 九月 一日、熊毛支庁視学室廃止され 教育課新設さる
- 二十三年 十月 校舎一棟増築 (上西小学校)
- 二十三年十一月 一日、鹿児島県教育委員会発足と共に熊毛支庁教育課、鹿児島県教育委員会事務局熊毛出張所となる
- 二十三年十二月 榕城小学校給食実施 (補食給食) (榕城小学校)
- 二十四年 三月 二日、六教室完成 (住吉中学校)
- 二十四年 四月 一日、種子島高等学校第一部を鹿児島県立種子島農業高等学校と称し定時制を併設す
- 二十四年 四月 二十日、校舎六教室落成 (安城中学校)
- 二十四年 四月 二十日、学校造林五ヶ年計画の初年度事業 区民一人杉十本宛 住吉 深川 能野三学林に分担して植林 六年生参加 (住吉小学校)
- 二十四年 六月 二十四日、PTA結成 (安城中学校)
- 二十四年 七月 校舎増築 (一七七坪) (安納小学校)

一九四九

- 二十四年 九月 種子島高等学校 (男子部) に女子部普通科を収容 男女併学を実施
- 二十四年 十月 十日、校舎落成 (現和中学校)
- 二十四年 十月 十三日、種子島高等学校北校舎落成
- 二十四年十二月 校舎新築起工 (鴻峰小学校)
- 二十四年十二月 県より譲渡された旧三部校舎に移転 (榕城中学校)
- 二十四年 東校舎一教室増築 (立山小学校)
- 二十四年 十二月 十二日、ピアノ開き (安城中学校)
- 二十五年 三月 二十七日、学林造林五ヶ年計画の二年度実施 (住吉小学校)
- 二十五年 四月 校舎落成 (古田中学校)
- 二十五年 五月 三十一日、種子島高等学校特別教室竣工 男女共学となる
- 二十五年 六月 旧校舎修理開始 (住吉小学校)
- 二十五年 六月 二十四日、第一期校舎八教室落成 (国上中学校)
- 二十五年 八月 三十一日、第一期工事一五坪竣工 (榕城中学校)
- 二十五年 十月 十二日、放送施設設備 (本地区における放送教育の先鞭) (住吉小学校)
- 二十五年十一月 十八日、校舎落成 (二八六坪) (古田中学校)
- 二十五年十二月 校舎竣工落成 (鴻峰小学校)
- 二十六年 四月 一日、種子島農業高等学校全日課程に女子農業科新設 定時制及び水産科を二ヶ年とする
- 二十六年 四月 一日、学級減 (五学級) (鴻峰小学校)
- 二十六年 四月 二十五日、開田用溜池工事完了 (現和中学校)
- 二十六年 五月 学校図書館設置 (国上小学校)
- 二十六年 六月 九日、校舎及び附属建物工事完了 (安城中学校)
- 二十六年 九月 校舎大修理 (古田小学校)
- 二十六年十一月 種子島高等学校の講堂および料理室竣工
- 二十六年十一月 第二期工事完了 (国上中学校)
- 二十六年十一月 第二期工事完了、榕城小学校借用校舎より生徒移転 (榕城中学校)
- 二十六年十二月 十七日、職員室校長室養護室七二・五坪落成 (住吉中学校)

一九四九

一九五〇

一九五一

- 二十六年十二月 二十日、校歌制定 (下西小学校)
- 二十七年 一月 特別教室落成 (伊関小学校)
- 二十七年 三月 農舎落成 (現和中学校)
- 二十七年 四月 鹿兒島県教育委員会熊毛出張所 熊毛教育事務所と改称
- 二十七年 四月 学級減四学級編成 (立山小学校)
- 二十七年 五月 校区PTA解散 小中分離 (住吉小学校)
- 二十七年 六月 二十一日、学校保健委員会結成 (住吉小学校)
- 二十七年 七月 十四日、郡主催視聴覚教育研究会 (住吉小学校)
- 二十七年 七月 二十三日、校舎大修理 (古田小学校)
- 二十七年 七月 二十五日、新校舎落成式挙行 三教室七五坪 (住吉小学校)
- 二十七年 七月 馬毛島に榕城小分教場をおき出張授業 (榕城小学校)
- 二十七年 十月 西之表町教育委員選挙西之表町教育委員会発足
- 二十八年 三月 種子島高等学校化学教室落成
- 二十八年 四月 一日、十二学級 児童数五三七名 (国上小学校)
- 二十八年 四月 一日、三学級(学級減による) (立山小学校)
- 二十八年 四月 一日、榕小馬毛島分校発足 校舎落成 (馬毛小学校)
- 二十八年 四月 一日、種子島高等学校に家庭科設置
- 二十八年 四月 一日、榕中馬毛島に分校を置き出張教授
- 二十八年 七月 十二日、講堂改築落成 水道工事新設完了 (国上小学校)
- 二十八年 八月 一日、文部省産業教育研究指定校となる (現和中学校)
- 二十八年 八月 十日、水道完成 (古田中学校)
- 二十八年 八月 二十五日、簡易水道施設 (古田小学校)
- 二十八年 八月 種子島高等学校旧寄宿舎食堂を修繕して柔道場となす
- 二十八年 十月 二十六日、校舎落成 (安城中学校)
- 二十八年 十月 十一日、学校図書館研究会公開 (町主催) (国上小学校)
- 二十八年 十二月 発電設備をなす (榕城小学校)
- 二十九年 三月 三十一日、種子島農業高等学校定時制別科水産科廃止
- 二十九年 三月 三十一日、鉄筋二四〇坪第一期工事起工 東校舎を解体水道施設をなす (榕城小学校)

一九五一  
一九五二

一九五三

一九五四

- 二十九年 五月 熊毛教育事務所新庁舎(二十五坪ブロック)竣工
- 二十九年 六月 学校図書室を設く (伊関小学校)
- 二十九年 六月 十日、創立七拾五周年記念行事 (国上小学校)
- 二十九年 七月 四日、水道施設完工 (榕城中学校)
- 二十九年 七月 新校舎落成式挙行(二教室、校長室五六坪) (住吉小学校)
- 二十九年 七月 学校放送、自家発電設備をなす (伊関小学校)
- 二十九年 九月 十六日、校歌制定 (国上小学校)
- 二十九年 九月 二十六日、校舎倒壊(十五号台風) (安城中学校)
- 二十九年 十月 鉄筋校舎増築落成 (榕城小学校)
- 二十九年 十月 十日、第二回九州地区放送教育僻地研究会 (国上中学校)
- 二十九年 十一月 機械室増築完了 (現和中学校)
- 三十年 一月 十二日、特別教室六六坪増築起工七月二十二日完工 (現和中学校)
- 三十年 三月 二十五日、農畜舎落成 (古田中学校)
- 三十年 三月 グランドピアノ購入 (国上小学校)
- 三十年 四月 一日、二学級増 十四学級 児童数六一二名
- 三十年 四月 一日、榕城中学校馬毛島分校設置
- 三十年 四月 八日、農舎二十坪ブロック建築完工 (住吉中学校)
- 三十年 六月 小教室 宿直室落成 (安納小学校)
- 三十年 七月 特別ブロック六六坪落成 (現和中学校)
- 三十年 八月 十七日、水道工事完成 (住吉中学校)
- 三十年 八月 二十五日、ブロック建築農舎および水道工事完成 (国上中学校)
- 三十年 八月 校舎補修 瓦葺替工事 (国上小学校)
- 三十年 九月 二十九日、種子島農業高校東半分 農具舎倒壊 一七一・五坪
- 三十年 九月 二十九日、台風二十二号により西校舎大破 (立山小学校)
- 三十年 九月 二十九日、種子島高等学校柔道場を含む旧寄宿舎倒壊
- 三十一年 一月 新校舎落成式挙行 ブロック建築一教室 職員室 玄関七七八坪 (住吉小学校)
- 三十二年 四月 学級増 十五学級 児童数六五三名 (国上小学校)

一九五四

一九五五

一九五六

- 三十一年 四月 町立定時併設高等学校別科家庭科を本科と改称
- 三十一年 四月 鹿兒島県種子島高等学校を鹿兒島県立種子島高等学校と改称
- 三十一年 五月 十六日 新校舎落成 (鉄筋平家四教室) (現和小学校)
- 三十一年 五月 二十日、ピアノ購入 (古田中学校)
- 三十一年 六月 四日 保健室工事完了 (鵜峰小学校)
- 三十一年 六月 三十日、榕城小学校馬毛島分校増築工事完了 (馬毛小学校)
- 三十一年 七月 学校用簡易水道工事完成 (鵜峰小学校)
- 三十一年 七月 第二期鉄筋校舎(一六〇坪)建築完成 (榕城小学校)
- 三十一年 八月 教室補修 瓦補修完了 (国上小学校)
- 三十一年 九月 ピアノ購入 (伊関小学校)
- 三十一年十一月 家事室 裁縫室落成 (古田中学校)
- 三十一年 二月 十一日、災害復旧校舎改築完了 (立山小学校)
- 三十一年 二月 十五日、ブロック二階建四教室完成 (安城中学校)
- 三十一年 三月 二十六日、種子島農業高等学校校舎復旧工事起工
- 三十一年 四月 一日、学級増 十六学級 (国上小学校)
- 三十一年 四月 一日、理科センターとなる (榕城中学校)
- 三十一年 四月 学級増 四学級 (立山小学校)
- 三十一年 五月 一日、西之表町中央公民館開設
- 三十一年 五月 六日、ブロック二階建四教室竣工 (榕城中学校)
- 三十一年 五月 十日、鉄筋ブロック校舎(一三五坪)竣工 (下西小学校)
- 三十一年 五月 ブロック二階建四教室完成 (榕城小学校)
- 三十一年 九月 十五日、農高校舎 音楽室 便所完成
- 三十一年 九月 十五日、新校舎落成 (安城小学校)
- 三十一年 十月 二日、宿直室、水道施設工事完了 (住吉小学校)
- 三十一年 十月 ブロック二階建四教室落成 (下西小学校)
- 三十一年 二月 種子島高校寄宿舎明善寮開設
- 三十一年 二月 特別教室落成 (国上中学校)

- 三十三年 四月 一日、青年学級県指定さる (古田中学校)
- 三十三年 四月 一日、学級増 十七学級 (国上小学校)
- 三十三年 四月 校舎建築第一期工事完了 (伊関小学校)
- 三十三年 四月 一日、学級増 八学級 (安納小学校)
- 三十三年 四月 一日、学級増 九学級 (下西小学校)
- 三十三年 四月 種子島高校 理科教員研修中心校となる
- 三十三年 四月 種子島農業高校定時制教室(四教室)落成
- 三十三年 四月 明郎幼稚園開設
- 三十三年 九月 学校給水工事完工 (現和小学校)
- 三十三年 十月 一日、西之表市制施行
- 三十三年 十月 三日、揚水式水道施設完工 (現和中学校)
- 三十三年 十月 鉄筋校舎落成 (伊関小学校)
- 三十三年十一月 六日、特別教室六六坪落成 (住吉中学校)
- 三十三年十二月 十日、種子島高校図書館竣工
- 三十四年 一月 九日、創立八十周年祝賀式 (住吉小学校)
- 三十四年 三月 八日、榕城小学校馬毛島分教場落成 (馬毛島小学校)
- 三十四年 四月 校舎建築第二期工事完了 (伊関小学校)
- 三十四年 四月 一日、学級増 五学級 (立山小学校)
- 三十四年 四月 一日、種子島農業高等学校全日課程(化学工学科および家庭科課程を新設 種子島実業高等学校と改称)
- 三十四年 四月 高等学校と改称
- 三十四年 四月 一日、種子島実業高等学校併設定時制農業科および前期課程生徒募集停止
- 三十四年 五月 ブロック校舎七十二坪増築落成 (国上小学校)
- 三十四年 六月 八日、水道工事起工式 (国上小学校)
- 三十四年 七月 四日、水道工事竣工 (国上小学校)
- 三十四年 九月 給水施設完工 (立山小学校)
- 三十四年 九月 給食堂竣工(二三・二五坪)校長住宅竣工(十八坪) (住吉小学校)
- 三十四年 十月 完全給食開始 給食堂三三坪 パン工場一八坪 (榕城小学校)

- 三十四年 十月 創立八十周年記念祝典挙行 (上西小学校)
- 三十四年 十月 学校水道設置 給食室新築(二〇・五坪) (安納小学校)
- 三十四年十一月 三日、鉄筋ブロック基礎工事開始 (現和小学校)
- 三十四年十一月 二十五日、給食開始 自家発電施設整備 (住吉小学校)
- 三十四年十一月 完全給食(A型)を開始 自家発電施設完成 (安納小学校)
- 三十四年十二月 裕城中学校併地集會室起工
- 三十四年 第三期鉄筋校舎四三・八九坪完成 (裕城小学校)
- 三十五年 一月 十三日、テレビ教育実施 (安城中学校)
- 三十五年 一月 十七日、パン工場より出火全焼 (裕城小学校)
- 三十五年 二月 十日、ピアノ購入 (古田小学校)
- 三十五年 三月 創立八十周年記念植樹(松四〇〇〇本) (国上小学校)
- 三十五年 四月 一日、学級増 十八学級 (国上小学校)
- 三十五年 四月 一日、学級増 十学級 (下西小学校)
- 三十五年 四月 パン工場再建完工
- 三十五年 四月 鉄筋校舎(一〇〇坪) 宿直室(一五坪) 便所(八坪) 竣工 (下西小学校)
- 三十五年 五月 鉄筋ブロック校舎落成 (現和小学校)
- 三十五年 六月 十一日、併地集會室落成 (裕城中学校)
- 三十五年 六月 自家発電施設完成 (立山小学校)
- 三十五年 七月 テレビジョン受信機購入 (住吉小学校)
- 三十五年 八月 簡易水道設置 (伊関小学校)
- 三十五年 八月 校庭整地 (古田小学校)
- 三十五年 九月 十八日、学校上水道開通 (住吉中学校)
- 三十五年 十月 二日、運動場開設 上水道設置完成 (住吉小学校)
- 三十五年十一月 電話架設 (住吉小学校)
- 三十五年 放送教育指定校となり研究会公開 (安納小学校)
- 三十六年 三月 鉄筋ブロック二階建四教室落成 (住吉小学校)
- 三十六年 三月 給食室落成 (上西小学校)

- 三十六年 四月 給食室竣工 完全給食開始 (下西小学校)
- 三十六年 五月 二十日、講堂落成 (伊関小学校)
- 三十六年 五月 学級増 六学級 (立山小学校)
- 三十六年 六月 校長住宅新築落成 (古田小学校)
- 三十六年 七月 七日、教育用テレビ購入 (古田小学校)
- 三十六年 十月 鉄筋二階建一〇一坪四教室増築 (裕城小学校)
- 三十六年 放送教育研究会公開 校内配線完備 (安納小学校)
- 三十七年 二月 二十四日、西之表市立定時制高等学校閉校(十四年間 卒業生六一〇名)
- 三十七年 三月 三十一日、普通教室五一坪増築工事完了 (現和中学校)
- 三十七年 三月 プロック建教室増築工事落成 (国上中学校)
- 三十七年 四月 一日、学級増 十一学級 (下西小学校)
- 三十七年 四月 一日、特殊学級設置 鉄筋二階建六教室増築 (裕城小学校)
- 三十七年 四月 学級減 七学級 (安納小学校)
- 三十七年 五月 二十六日、併地集會室落成 (安城小学校)
- 三十七年 五月 ミルク給食室建築完成ならびに給食実施 (立山小学校)
- 三十七年 六月 四日、ミルク給食室工事完了 (鴻峰小学校)
- 三十八年 三月 九日、校舎改築 鉄筋二階建一二四坪落成 (古田小学校)
- 三十八年 三月 農舎を改造して技術室(三〇坪) 設定 (現和小学校)
- 三十八年 五月 十一日、併地集會室落成 (住吉小学校)
- 三十八年 五月 完全給食実施 (伊関小学校)
- 三十八年 八月 中庭 池 花園施設完成 (住吉小学校)
- 三十八年 八月 鼓笛隊編成 (伊関小学校)
- 三十八年 九月 十六ミリ映写機購入 (住吉小学校)
- 三十八年 十月 三十一日、成人学級(父親学級)開講式 (国上小学校)
- 三十八年十一月 六日、旧校舎解体作業開始 (国上小学校)
- 三十八年十二月 七日、学校建築開始 (国上小学校)
- 三十八年 県学校保健優良校(県モデルスクール指定)となる (裕城小学校)
- 三十九年 三月 二十五日、ミルク給食実施 (古田小学校)

- 三十九年 給食室竣工 (現和小学校)
- 三十九年 四月 一日、校舎改築 鉄筋二階建 一五三坪 鉄筋ブロック九坪落成 (古田小学校)
- 三十九年 五月 十一日、ミルク給食開始 (国上小学校)
- 三十九年 五月 十三日、ミルク給食開始 (古田小学校)
- 三十九年 五月 二十五日、僻地集會室九五坪竣工 (下西小学校)
- 三十九年 九月 一日、第二水源地完成給水開始 (国上中学校)
- 三十九年 九月 二十四日、旧校舎全壊 (現和中学校)
- 三十九年 九月 二十四日、校舎傾斜し倒壊寸前の大被害を受く (鴻峰小学校)
- 三十九年 九月 二十四日、五教室倒壊 (現和小学校)
- 三十九年十一月 二十四日、創立五十周年記念式典 (鴻峰小学校)
- 四十年 五月 二十四日、給食室竣工完全給食開始 (裕城中学校)
- 四十年 七月 二十日、鉄筋五教室竣工 (裕城中学校)
- 四十年 七月 僻地集會室竣工 (安納小学校)
- 四十年 八月 二十三日、新校舎二五一坪新築着工 (現和中学校)
- 四十年十一月 一日、市立保育所 市立保育園と改称 定員九十名となる
- 四十一年 一月 僻地集會室竣工 (上西小学校)
- 四十一年 三月 三十一日、種子島高等学校鉄筋二階建第三期工事竣工、女子寄宿舎竣工
- 四十一年 三月 麗大牧場廃止さる
- 四十一年 四月 裕城幼稚園開園
- 四十一年 五月 二十日、種子島実業高等学校 本館鉄筋三階建五七一坪完成
- 四十一年十二月 十四日、種子島高等学校特別教室一階建第二期工事竣工
- 四十二年 二月 十七日、種子島実業高等学校体育館落成 創立六十周年式典ならびに祝賀会
- 四十二年 二月 十七日、体育館落成 (古田小学校)
- 四十二年 二月 僻地集會室竣工 (現和中学校)

- 四十二年 二月 危険校舎改築竣工 (安納小学校)
- 四十三年 二月 八日、給食実施 (住吉中学校)
- 四十三年 三月 四日、改築工事完工 (上西小学校)
- 四十三年 三月 三十一日、種子島高等学校 特別教室鉄筋二階建第二期工事竣工
- 四十三年 八月 種子島高等学校体育館竣工
- 四十三年 八月 プール竣工 (裕城小学校)
- 四十三年十一月 創立九〇周年記念事業 (現和小学校)

数年前、西之表市誌編纂の計画があつて、そのとき教育関係については、わたしが担当するといふようにきまりました。特に明治以降を中心にしたといふ意向で、それ以来、西之表市内各小中学校の沿革史などを当時の校長先生方に依頼したり、その他の資料としては郡治要覧などを参考として教育に関する事項がいくらかまとまりましたが、それを編年式にまとめたのが、この年表であります。西之表市誌の教育編は、かなり大まかなもので具体的事項は殆んどかくされていると思います。市誌を読むに当つての参考として下されば幸甚です。

昭和四十六年五月八日記

編者 河内和夫